

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>○本町田小学校(町田第二地区) ・2017年度から継続して町田スポーツ文化ネットワークが、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ500人が参加した。</p> <p>○忠生第三小学校(木曾地区) ・2017年度から継続して町田スポーツ文化ネットワークが、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ720人が参加した。</p> <p>○小山ヶ丘小学校(小山地区) ・2019年度から新たにおやまスポーツ文化倶楽部とスポーツ推進委員との連携により、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ870人が参加した。</p>					
総括	新たに、おやまスポーツ文化倶楽部が、小山ヶ丘小学校(小山地区)の「まちとも」と連携し、普段体育の授業では体験できない新しいスポーツを実施した。事業を実施するにあたり、地域スポーツクラブだけでは提供できないスポーツプログラムもあったが、スポーツ推進委員からアドバイスを受けることで、ドッチビーやスポーツ鬼ごっこ等、様々なスポーツプログラムを実施することができた。2020年度は、新たに1地区の連携拡大に向けて、調整を行う。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-2		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>・公園等でのボール遊びの基準について検討を行い、2地区(南地区、高ヶ坂・成瀬地区)のスポーツマップ作成・配布に向けたスケジュールを作成した。</p> <p>・南地区、高ヶ坂・成瀬地区の地区ごとに、「する」スポーツ施設の情報(施設数、規模、種類等)を調査・整理し、リストを作成した。</p> <p>・「する」スポーツ施設の位置関係を整理・把握するためのマップを作成した。</p>					
総括	公園等でのボール遊びの基準について検討を行い、地区ごとの「する」スポーツ施設の情報を調査・整理することができた。2020年度は、作成したスケジュールやリストをもとに、より多くのスポーツ施設、公園等をスポーツマップに掲載できるよう関係各課や関係団と調整し、2地区のスポーツマップを作成・配布する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-3		実施主体	教育委員会		
取組項目	小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>10月18日(金)に、試行として14校の6年生、約1,200人が市立陸上競技場に集まり、プレ大会を実施した。各種競技のほか、オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課と連携し、東京2020マスコットによるクイズやダンスの演出も行った。</p> <p>【参加校】 町田第二小学校/町田第六小学校 藤の台小学校 南第一小学校 南第三小学校 南第四小学校 つくし野小学校 小川小学校 鶴間小学校 高ヶ坂小学校 南つくし野小学校 金井小学校 小山田小学校 七国山小学校</p> <p>【競技種目】 (1)準備運動・整理運動 (2)みんなで走ろう(Go!Go! Run!) (3)100m走 (4)50mハードル走 (5)走り幅跳び (6)走り高跳び (7)800m走 (8)400mリレー (9)長なわ (10)チャレンジ種目(特別支援学級等種目)</p>					
総括	子どもたちは、それまでの練習を通して築いてきた自信をもとに、同じ学校の仲間の応援を力に変え、最後まで全力で取り組んでいた。整備された「本物」の陸上競技場で競技を行うことにより、日常では味わえない体験をすることができ、他校の児童と競技をすることを通して、運動やスポーツの魅力、運動やスポーツによって多様な人々と交流することの楽しさを実感できる機会となった。プレ大会で確認できた課題を整理し、2020年度の全校実施が円滑に行われるよう、計画的に準備を進める。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-4		実施主体	スポーツ振興課 オリパラ推進課 指定管理者		
取組項目	トップアスリートとの交流機会の創出					
取組内容	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。					
指標	トップアスリートとの交流機会の創出		現状値 (2018年度)	年 1回		
			目標値 (2023年度)	年 9回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 8回	年 9回	年 7回	年 8回	年 9回	
実施状況	年 11回					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・大相撲町田場所を実施した。 ・第10回スポーツアワードまちだを開催した。(スポーツ振興課) ・マラソングランドチャンピオンシップパブリックビューイング&町田マラソン(いだてん)応援プロジェクトを実施した。 ・ラグビーワールドカップ2019事前キャンプにて、ナミビア代表が小学生ラグビー教室を実施した。 ・空手インドネシア代表、パラバドミントンインドネシア代表が、小学生を対象に交流会を実施した。(オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課) ○指定管理施設 ・「チャレンジマッスル2019」において、パラリンピック選手による卓球体験会を行った。(総合体育館) ・日本代表カヌー選手によるカヌー体験会(室内プール) ・「町田市少年野球連盟野球教室」において、読売巨人軍の元プロ野球選手による少年野球教室を野球連盟と共同で行った。(三輪みどり山球場) ・「キッズ陸上教室」及び「アクティブ運動教室」において、野津田公園に勤務する現役選手(走り幅跳び・砲丸投げ)が指導補助及びデモンストレーションを行った。(野津田公園) ○読売巨人軍 ・読売ジャイアンツ町田市フェスタを実施した。 					
総括	市内競技団体、大学、ホームタウンチーム等の協力を得てラグビーワールドカップ2019および東京2020大会の気運醸成を図り、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えることができた。また、指定管理者企業に所属するアスリートによる教室事業の実施など、指定管理者独自の交流イベントが開催できている。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	企業単位で行えるスポーツ情報、出前講座の提供					
取組内容	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援します。					
指標	出前講座の提供を行った企業数		現状値 (2018年度)	0社		
			目標値 (2023年度)	10社		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	1社	3社	5社	8社	10社	
実施状況	2社提供 1社調整					
2019年度 具体的な 取組み	<p>○町田中央公園 ・2月及び3月に各1回、旭町の協和キリン(株)に出向し、「歩行測定診断」と「転倒防止トレーニング」を実施した。</p> <p>○総合体育館 ・3月に1回、忠生の(株)プリンシプル自動車に出向し、バス運転手を対象に「自宅でもできる腰痛予防・改善ストレッチ指導」を行った。</p> <p>○室内プール ・2020年度の実施に向け、下小山田町の「花の家」と講習内容の協議を行った。</p>					
総括	指定管理者において、日ごろから近隣の企業と有効な関係が築けていたことから計画以上の成果が得られた。 2020年度は、2019年度に実施した企業に引き続き出前講座の提供を行うとともに、新たな企業との連携を行う。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 スポーツ推進委員 ほか		
取組項目	子どもの健診時のスポーツ啓発					
取組内容	3歳児健診等子どもの健診時に、子育て中でも日常生活の中で行えるスポーツについて情報提供します。					
指標	啓発物の作成・配布		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 作成	実施	見直し 実施	見直し 実施	実施	
実施状況	検討 作成					
2019年度 具体的な 取組み	<p>・健診時のスポーツ啓発物の作成にあたり、現状を把握するため、3～4か月健診・3歳児健診の会場を視察する等、保健予防課と調整を行った。</p> <p>・健診時の保護者をターゲットとした啓発物や健診会場の待ち時間に見ることができる資料の作成について、スポーツ関連団体等と調整を行い、資料を作成した。</p>					
総括	子育て中の方が、日常生活の中で行えるスポーツについて、情報を入手できる資料を作成した。今後の課題として、健診時の保護者が資料を手に取りやすいように設置方法等について検討する必要がある。引き続き保健所と連携を図りながら、より良い健診時の啓発方法を検討する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	1-2-3		実施主体			スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほか
取組項目	家族で参加できるスポーツイベントの開催					
取組内容	すぼ一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。					
指標	市民体力テスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人		
			目標値 (2023年度)	年 450人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人	
実施状況	検討					
2019年度 具体的な 取り組み	会場スペース、開催日、人員等を洗い出し、スポーツ祭まちだと市民体力テストの連携の可能性について検討を行った。					
総括	すぼ一つ祭まちだを主催している体育協会と市民体力テストを主体的に行っているスポーツ推進委員との調整が必要となる。どちらのイベントも総合体育館で実施しているが、イベントを統合した場合、現状の種目や内容を実施するにはスペースが不足しているため、開催時間や実施内容等の変更・見直しが必要である。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-1		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
取組項目	高齢者へのニュースポーツ啓発					
取組内容	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。					
指標	高齢者支援センターと連携して事業を実施した地域		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	6地域		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	
実施状況	1地域					
2019年度 具体的な 取り組み	・忠生第二高齢者支援センター利用者に対して全3回のボッチャ教室を行い、ルール説明、実践、審判講習を実施し、延べ90人程度が参加した。また、運動を行うことの重要性、有効性の講義を実施した。					
総括	各地域高齢者支援センターに対し、事業説明・調整を行った。すでに年間計画が組まれており、開催に向け調整を行った高齢者支援センターは2ヶ所に留まった。そのうち1ヶ所については事業を実施することができたが、もう1ヶ所については日程の折り合いがつかず、次年度開催に向け引き続き調整を行っている。 2020年度は、新たな地区で高齢者支援センターと連携したニュースポーツ教室を実施する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実					
取組内容	室内プールに併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。					
指標	温浴施設を活用した事業の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	—	—	検討	実施	実施	
実施状況	—					
2019年度 具体的な 取り組み	温浴施設整備のための設計を完了した。					
総括	2020年度から2021年度にかけて整備工事を行い、2022年度の供用開始を予定している。施設を活用したスポーツ教室等については、供用開始の前年度である2021年度に検討を行う。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-1		実施主体	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者		
取組項目	スポーツ・レクリエーション教室等の開催					
取組内容	障がい者(児)スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。 ①障がい者スポーツ教室(旭町体育館、すみれ教室プール) ②指定管理者による教室・イベント事業					
指標	現状値 (2018年度)		①体:年35回、プ:年30回 ②年51回			
	目標値 (2023年度)		①体:年36回、プ:年36回 ②年55回			
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	①体:年36回 プ:年36回 ②年53回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	①体:年36回 プ:年36回 ②年55回	
実施状況	①体:年34回 プ:年26回 ②年37回					
2019年度 具体的な 取り組み	①障がい者スポーツ教室(サン町田旭体育館、町田市子ども発達センター温水プール) ・サン町田旭体育館で、ランニング、トランポリン、ボール遊び、レクリエーションを実施した。 ・町田市子ども発達センター温水プールで、個人の泳力に合わせた水泳指導、レクリエーションを実施した。 ②指定管理者による教室・イベント事業 ・野津田公園で、関東パラ陸上競技協会と共催で「パラ(障がい者)陸上競技教室」を障がいのレベルと個人の体力・技術レベルに合わせ、夏季・冬季各10回実施し、延べ404人が参加した。 ・町田中央公園で、「障がい者卓球教室」を5回実施し、延べ30人が参加した。 ・総合体育館で、「障がい者卓球教室」を5回実施し、延べ58人が参加した。また、「障がい者スポーツ大会」を開催し、927人が参加した。「こどもスポーツチャレンジ2019」、「チャレンジマッスル2019」、「エンジョイ☆スポーツまちだ2020」において、車いすバドミントンやポッチャ、ブラインドサッカー、ユニカールなどの体験コーナーを設置した。 ・室内プールで、南成瀬小学校及び南第二小学校のイベント開催時に「ポッチャ体験会」を実施し、延べ327人が参加した。また、南地区青少年健全育成委員向けの「ポッチャ講習会」を実施し、40人が参加した。					
総括	①について、サン町田旭体育館での教室は、台風により一部教室を中止した。プールは、子ども発達センターの工事のため、2か月間使用できず、開催回数が減少した。 ②について、2019年度から総合体育館の指定管理者が変更になり、2018年度に実施していた、自主事業「チャレンジふれあいスポーツ教室」(開催回数20回・障がい者参加者延べ193名)が未実施となったため、計画値に到達しなかった。 2020年度は、引き続き教室やイベントを開催していくとともに、未実施となった指定管理者の自主事業について調整を行う。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課		
取組項目	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催					
取組内容	市内の小中学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。					
指標	現状値 (2018年度)		年 710人			
	目標値 (2023年度)		年 1,000人			
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	年 1,000人	
実施状況	年 1,465人					
2019年度 具体的な 取り組み	○図師小学校 6/27(木)2年生75人 ○本町田東小学校 7/17(水)4年生～6年生119人 ○南第四小学校 7/18(木)4年生105人、7/19(金)5年生87人、 9/5(木)6年生92人、9/6(金)3年生99人 ○木曽境川小学校 9/4(水)2年生78人、12/19(木)3年生77人 ○小川小学校 10/1(火)5年生76人、10/23(水)4年生80人 ○町田第二小学校 10/3(木)4年生71人 ○成瀬中央小学校 10/4(金)5年生46人 ○南第二小学校 10/28(月)5年生60人 ○大蔵小学校 12/23(月)5年生136人 ○七国山小学校 2/18(火)4年生112人 ○小山中央小学校 2/13(木)6年生152人					
総括	日本障がい者バドミントン連盟の協力のもと、市内小中学校にパラアスリートを派遣していただき、事業を展開できた。また、町田市バドミントン連盟の講師を派遣し、小学生に指導を行った。市内小学校11校1,465人の児童にパラアスリートによる体験教室を実施することができた。2020年度も事業を継続して実施する。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-3		実施主体	指定管理者 スポーツ振興課	
取組項目	障がい者のスポーツ参加機会の提供				
取組内容	インクルーシブスポーツを推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知することにより、利用者数を増やします。 ※インクルーシブスポーツとは、子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ				
指標	スポーツ施設開放年間利用者数	現状値 (2018年度)	20,401人		
		目標値 (2023年度)	22,000人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	検討 調整	調整	21,000人	21,000人	22,000人
実施状況	検討 一部実施				
2019年度 具体的な 取り組み	<p>○町田中央公園 トレーニング室障がい者利用者数 544人 ・トレーニング室の利用にあたり、車いす利用者も快適に利用できるよう導線の確保と車いすのまま上半身のウエイトトレーニングが可能なケーブルマシンや上半身で行う有酸素マシンを設置した。</p> <p>○総合体育館 トレーニング室障がい者利用者数 1271人 ・2月に「つながる・ひろがる・スポーツの輪」をテーマに、子どもから高齢者、障がい者などどなたでも楽しめるイベント「エンジョイ☆スポーツまちだ2020」を実施した。</p> <p>○室内プール トレーニング室障がい者利用者数 7人 ・トレーニング室の利用にあたり、車いす利用者も快適に利用できるように、車いすのままトレーニングが可能な機器を複数台設置した。 ・施設改修においてみんなのトイレを改修した。また、指定管理者において、50メートルプールに移動式の階段を設置し、利用環境の向上を図った。</p>				
総括	車いすのままでもトレーニングできる機器を設置し環境整備を図った。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1)スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-1		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣					
取組内容	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	1団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	4団体 検討 調整					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>○法政大学 ・スポーツ教室に関する協定に基づき、教員や学生が講師となり、スポーツ教室を実施した。昨年度から継続して、大学側と参加者の年齢や居住地域等について情報共有し、町田市との連携の進め方について協議を行った。</p> <p>○国士舘大学 ・体育・スポーツ振興に関する包括連携に関する協定を締結した。 ・協定に基づき、国士舘大学の教員、学生が講師となり、大蔵小学校まちもにて、子どもマラソン大会に向けた走り方教室を開催した。</p> <p>○第一生命株式会社 ・協定を締結し、協定に基づき、走り方教室を実施した。</p> <p>○日本体育大学 ・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、教員が講師となり、未就学児とその保護者を対象に「おやこあそび(親子で簡単にできる運動教室)」を実施した。</p>					
総括	4団体と連携した取り組みを行い、目標を達成することができた。 2020年度以降は、連携した団体との関係性を深めつつ、新たな団体とのスポーツに関わる人材連携の調整を行う。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1)スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課		
取組項目	まちだサポーターズの活動機会の充実					
取組内容	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。					
指標	年間延べ活動参加者数		現状値 (2018年度)	年 3,038人		
			目標値 (2023年度)	年 3,300人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	年 3,300人	
実施状況	年 3,405人					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期活動 72回581人 ・第2四半期活動 165回860人 ・第3四半期活動 52回805人 ・第4四半期活動 44回415人 ・ゼルビア活動(2019シーズン) 21試合486人 ・ペスカドーラ活動(2019-2020シーズン) 14試合258人 					
総括	登録者数734人のうち実際に活動した人は457人で、1人あたり平均7回の活動に参加した。 2020年度以降は、オリンピック・パラリンピック終了後のボランティア数の維持が課題となっているため、オリンピックパラリンピックを目的に新たにサポーターになった方に対し、その他のスポーツボランティアへの積極的な参加を促す等働きかけを行う。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	地域密着型スポーツ推進委員の育成				
取組内容	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。				
指標	スポーツ推進委員が関わる地区協議会数		現状値 (2018年度)	0地区	
			目標値 (2023年度)	10地区	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	0地区	3地区	6地区	6地区	10地区
実施状況	0地区 検討				
2019年度 具体的な 取り組み	現委員を10地区に配置した場合の想定や、居住地区の分布について把握した。今後、均等配置した際にどのように地域と接していくか等、配置した後の目標や関わり方について検討を行った。				
総括	地域性に偏りがあるため、今後どのように市内全域に担当を配置していくかが課題となる。また、2020年度はモデルケースを作り、今後の進め方について検討していく必要がある。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2)スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
取組項目	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進					
取組内容	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。					
指標	町内会自治会と連携したクラブ数		現状値 (2018年度)	2クラブ		
			目標値 (2023年度)	5クラブ		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	2クラブ 調査	2クラブ 検討 調整	3クラブ 検討 調整	4クラブ 検討 調整	5クラブ	
実施状況	2クラブ 調査					
2019年度 具体的な 取り組み	町田スポーツ文化ネットワーク、おやmasports文化倶楽部が、各クラブの活動地域において、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」や各種スポーツイベントを実施し、学校や町内会自治会といった地域の各主体と連携して地域スポーツ活動を実施した。また、アンケート等により、地域との連携状況について調査を行い、すでに連携している2クラブについてはヒアリングを行った。					
総括	すでに地域との連携ができている町田スポーツ文化ネットワークやおやmasports文化倶楽部は、「まちとも」の活動を中心に、地域の方との連携を深めることで、地域での活動をスムーズに進めることができている。2020年度以降は、2団体の活動を参考に、地域スポーツクラブと町内会自治会等との連携方法について引き続き検討し、新たな地域での連携を進めていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2)スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-2		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 体育協会 ほか		
取組項目	【再掲】家族で参加できるスポーツイベントの開催					
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体カテスト等のイベントが連携し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。					
指標	市民体カテスト年間参加者数 (20歳代～50歳代まで)		現状値 (2018年度)	年 75人		
			目標値 (2023年度)	年 450人		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	年 450人	年 450人	年 450人	年 450人	
実施状況	検討					
2019年度 具体的な 取り組み	会場スペース、開催日、人員等を洗い出し、スポーツ祭まちだと市民体カテストの連携の可能性について検討を行った。					
総括	すば一つ祭まちだを主催している体育協会と市民体カテストを主体的に行っているスポーツ推進委員との調整が必要となる。どちらのイベントも総合体育館で実施しているが、イベントを統合した場合、現状の種目や内容を実施するにはスペースが不足しているため、開催時間や実施内容等の変更・見直しが必要である。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
 (2)スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-3		実施主体	オリパラ等国際大会推進課	
取組項目	まちだサポーターズの組織化				
取組内容	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営にに欠かせない存在に育成します。				
指標	まちだサポーターズの育成		現状値 (2018年度)	検討	
			目標値 (2023年度)	実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	活動方針 検討	活動方針 決定	実施
実施状況	オリンピック・パラリンピック開催に向けた活動拡充				
2019年度 具体的な 取り組み	<p>2019年2月頃から増加傾向にある、まちだサポーターズ新規会員を対象とした、まちだサポーターズ総務班による自主的な企画「新人研修会」を年4回実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年 5月 9日 市庁舎2階市民協働おうえんルーム 62人参加 ・2019年 8月 29日 市庁舎2階市民協働おうえんルーム 22人参加 ・2019年 11月 21日 市庁舎2階市民協働おうえんルーム 3人参加 ・2020年 2月 19日 市庁舎2階市民協働おうえんルーム 11人参加 <p>2019年12月1日に開催された、「まちカフェ！」において、まちだサポーターズを中心に会員増加を狙った企画を検討してブース出展を行った。</p>				
総括	<p>2019年度は、まちだサポーターズ自らが考えたプランを実行できるように、行政がサポートする体制を組むことができた。</p> <p>特に、オリンピック・パラリンピック大会に関われるということで新規加入された会員の方と、既存の会員の温度差を埋める必要があるという課題に対し「新人研修会」を実施し、会員同士の交流にも役立った。</p>				

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。					
指標	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数		現状値 (2018年度)	2地区		
			目標値 (2023年度)	5地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	3地区	4地区	5地区	5地区	5地区	
実施状況	3地区					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>○本町田小学校(町田第二地区) ・2017年度から継続して町田スポーツ文化ネットワークが、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ500人が参加した。</p> <p>○忠生第三小学校(木曽地区) ・2017年度から継続して町田スポーツ文化ネットワークが、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ720人が参加した。</p> <p>○小山ヶ丘小学校(小山地区) ・2019年度から新たにおやまスポーツ文化倶楽部とスポーツ推進委員との連携により、放課後等子ども遊び場見守り事業「まちとも」にて、スポーツプログラムの提供を行い、延べ870人が参加した。</p>					
総括	<p>新たに、おやまスポーツ文化倶楽部が、小山ヶ丘小学校(小山地区)の「まちとも」と連携し、普段体育の授業では体験できない新しいスポーツを実施した。事業を実施するにあたり、地域スポーツクラブだけでは提供できないスポーツプログラムもあったが、スポーツ推進委員からアドバイスを受けることで、ドッチビーやスポーツ鬼ごっこ等、様々なスポーツプログラムを実施することができた。</p> <p>2020年度は、新たに1地区の連携拡大に向けて、調整を行う。</p>					

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-2		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	大規模スポーツ広場7箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備					
取組内容	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。					
指標	スポーツ施設数(公の施設)		現状値 (2018年度)	29施設 (有料開放している学校4施設含む)		
			目標値 (2023年度)	35施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	31施設	31施設	33施設	35施設	35施設	
実施状況	31施設					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>○鶴間公園 ・グラウンド、運動広場、テニスコートの整備が完了した。まちだ施設案内予約システムに登録し、公のスポーツ施設として市民利用を開始した。</p> <p>○芹ヶ谷公園 ・グラウンドの整備が完了した。まちだ施設案内予約システムに登録し、公のスポーツ施設として市民利用を開始した。</p> <p>○小山上沼公園 ・近隣住民に対し、説明会を開催し、事業進捗のための意見を伺い、工事着手に向けた実施設計を完了した。</p> <p>○成瀬鞍掛スポーツ広場 ・近隣住民、利用団体に対し、説明会を開催し、事業進捗のための意見を伺い、実施設計に向けた基本設計を完了した。</p>					
総括	<p>2019年度は、計画通りに進めることができた。</p> <p>2020年度は、2021年度に供用開始予定の2施設(小山上沼公園、野津田公園多目的グラウンド等)の整備を行う。</p>					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-3		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	中小規模・民有地スポーツ広場利用のルール作成					
取組内容	中小規模・民有地スポーツ広場は利用のルールを作成し、市民利用を拡大します。					
指標	作成したルールに基づく利用の実施		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	調査 検討	調整 作成	実施	実施	実施	
実施状況	調査 検討					
2019年度 具体的な 取り組み	管理運営委員会に対し、スポーツ広場の利用状況や管理運営方法について、アンケートを実施した。					
総括	グラウンドの規模や利用種目により、施設管理している等管理・運営方法がスポーツ広場により異なっているため、より多くのスポーツ広場を、より多くの市民が利用できるよう管理運営委員会と調整し、管理・運営方法の状況に応じた共通の利用ルールを作成していく必要がある。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-4		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	公園のスポーツ利用の促進					
取組内容	スポーツ利用できる公園をスポーツマップに掲載し、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。					
指標	利用方法の見直し		現状値 (2018年度)	—		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討 調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討 調査					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 公園でのボール遊びの基準について検討を行った。 2地区(南地区、高ヶ坂・成瀬地区)のスポーツマップ作成・配布に向けたスケジュールを作成した。 					
総括	公園利用の現状を把握し、安全にボール遊びをすることのできる公園の選定基準を作ることができた。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-5		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	夜間照明設備の設置					
取組内容	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。					
指標	夜間照明設置		現状値 (2018年度)	6施設		
			目標値 (2023年度)	9施設		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討	検討	調整	調整	9施設	
実施状況	8施設					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴間公園内のグラウンド及びテニスコートに夜間照明設備を整備した。(2施設整備完了) ・夜間照明設備を含めて整備する小山上沼公園スポーツ施設整備について、整備に関する住民説明会を実施した。 					
総括	2019年12月1日から鶴間公園のグラウンド及びテニスコートの供用を開始し、夜間照明の設置箇所が6か所から8か所となった。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-6		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大					
取組内容	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるにします。					
指標	連携団体数		現状値 (2018年度)	2団体		
			目標値 (2023年度)	7団体		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	4団体 検討 調整	5団体 検討 調整	6団体 検討 調整	7団体	7団体	
実施状況	4団体 検討 調整					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○法政大学 <ul style="list-style-type: none"> ・法政大学のスポーツ施設を活用し、スポーツ教室を実施し、延べ5,354人が参加した。また、スポーツ教室の情報を広報まちだおよびホームページに掲載し、事業の周知を図った。 ○東京家政学院大学(登録団体数:24団体、登録者数:135人) <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコートの利用に関する連携事業を継続して実施した。また、施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。 ○国士舘大学 <ul style="list-style-type: none"> ・体育・スポーツ振興に関する包括連携に関する協定を締結した。また、スポーツ教室の情報を広報まちだおよびホームページに掲載し、事業の周知を図った。 ○サレジオ工業高等専門学校 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設利用について調整を行った。サレジオ工業高等専門学校と体育・スポーツ振興に関する包括連携に関する協定締結に向け、調整を行っている。 					
総括	4団体と連携した取り組みを行い、目標を達成することができた。大学が所有するスポーツ施設の利用については、既に大学等の活動(授業や部活動等)で空きがない状況にあるため、大学施設の利用の拡大が難しい状況にある。2020年度は、人材の連携を進める中で各団体との関係性を深めることにより、今後もスポーツ施設利用に関する調整を行う。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-1		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課 営繕課		
取組項目	総合体育館、陸上競技場におけるスポーツ観戦環境整備					
取組内容	陸上競技場を15,000人収容のスタジアムに改修し、競技場の活用の幅を広げ、市民のにぎわいを創出します。 また、総合体育館に大型映像装置を整備し、スポーツの観戦環境の充実を図ります。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未整備		
			目標値 (2023年度)	整備		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	整備	整備	—	—	—	
実施状況	整備					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 町田GIONスタジアムの観客席増設について、2019年8月に造成工事が完了し、同月、観客席増設工事に着手した。 2019年12月に総合体育館に大型映像装置が設置され、ペスカドーラ町田のホームゲームに合わせて供用を開始した。そのお披露目イベントとして点灯式典を行い、市内外に向け、大型映像装置を活用した新しい体育館の活用方法を発信した。 					
総括	<ul style="list-style-type: none"> 町田GIONスタジアムの観客席増設については、2021年2月までの工事完了を目指し、適切な工事監理を行う。 総合体育館大型映像装置については、映像を投影するほか、大会の次第、メンバー表、対戦表の表示など、プロスポーツだけではなく市民利用まで幅広く活用していただけるよう運用方法について検討していく必要がある。 					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-2		実施主体	教育委員会		
取組項目	【再掲】小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2018年度)	未開催		
			目標値 (2023年度)	42校		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	14校	42校	42校	42校	42校	
実施状況	14校					
2019年度 具体的な 取り組み	<p>10月18日(金)に、試行として14校の6年生、約1,200人が市立陸上競技場に集まり、プレ大会を実施した。各種競技のほか、オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課と連携し、東京2020マスコットによるクイズやダンスの演出も行った。</p> <p>【参加校】 町田第二小学校/町田第六小学校 藤の台小学校 南第一小学校 南第三小学校 南第四小学校 つくし野小学校 小川小学校 鶴間小学校 高ヶ坂小学校 南つくし野小学校 金井小学校 小山田小学校 七国山小学校</p> <p>【競技種目】 (1) 準備運動・整理運動 (2) みんなで走ろう(Go!Go! Run!) (3) 100m走 (4) 50mハードル走 (5) 走り幅跳び (6) 走り高跳び (7) 800m走 (8) 400mリレー (9) 長なわ (10) チャレンジ種目(特別支援学級等種目)</p>					
総括	子どもたちは、それまでの練習を通して築いてきた自信をもとに、同じ学校の仲間の応援を力に変え、最後まで全力で取り組んでいた。整備された「本物」の陸上競技場で競技を行うことにより、日常では味わえない体験をすることができ、他校の児童と競技をすることを通して、運動やスポーツの魅力、運動やスポーツによって多様な人々と交流することの楽しさを実感できる機会となった。プレ大会で確認できた課題を整理し、2020年度の全校実施が円滑に行われるよう、計画的に準備を進める。					

基本目標3 スポーツ環境の充実
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-3		実施主体		
			スポーツ振興課 オリパラ等国際大会推進課 広報課 ほか		
取組項目	パブリックビューイングの実施				
取組内容	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイングを実施し、オール町田の一体感を創出します。				
指標	年間実施回数		現状値 (2018年度)	年 1回	
			目標値 (2023年度)	年 3回	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回	年 3回
実施状況	年 5回				
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・7/27ラグビーパブリックビューイング2019 in TOKYO(日本代表vフィジー代表) 会場:町田シバヒロ、観客数:2,000人 ・9/15マラソングランドチャンピオンシップパブリックビューイング 会場:市立陸上競技場、観客数:600人 ・9/28ラグビーワールドカップ2019パブリックビューイング (日本代表vアイルランド代表、南アフリカ代表vナミビア代表) 会場:町田ターミナルプラザ市民広場、観客数:1,000人 ・10/6ラグビーワールドカップ2019パブリックビューイング(ニュージーランド代表vナミビア代表) 会場:生涯学習センターホール、観客数:158人 ・10/20ラグビーワールドカップ2019パブリックビューイング(日本代表v南アフリカ代表) 会場:和光大学ボブリホール、観客数:200人 				
総括	<p>ラグビー日本代表やラグビーワールドカップ2019にて町田市の公認チームキャンプ国であったナミビア代表戦のパブリックビューイングを実施することにより、大会やラグビー競技に対する市民の関心を高め、まちを挙げた盛り上がりにつなげることができた。</p> <p>また、町田ゆかりのアスリートであるマラソンの大迫選手が出場したマラソングランドチャンピオンシップのパブリックビューイングを実施することにより、東京2020大会に向けた気運醸成を図ることができた。</p> <p>2020年度は、オリンピック・パラリンピック大会コミュニティライブサイト等オリンピック・パラリンピック大会に関連するものを中心に、市内会場でパブリックビューイングを実施する。</p>				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1)スポーツ情報の発信

番号	4-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの作成・活用					
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を作成し、市内の全小学生に配布します。					
指標	スポーツマップを作成した地区数		現状値 (2018年度)	0地区		
			目標値 (2023年度)	10地区		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討調査	2地区	4地区	7地区	10地区	
実施状況	検討調査					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 公園等でのボール遊びの基準について検討を行い、2地区(南地区、高ヶ坂・成瀬地区)のスポーツマップ作成・配布に向けたスケジュールを作成した。 南地区、高ヶ坂・成瀬地区の地区ごとに、「する」スポーツ施設の情報(施設数、規模、種類等)を調査・整理し、リストを作成した。 「する」スポーツ施設の位置関係を整理・把握するためのマップを作成した。 					
総括	公園等でのボール遊びの基準について検討を行い、地区ごとの「する」スポーツ施設の情報を調査・整理することができた。 2020年度は、作成したスケジュールやリストをもとに、より多くのスポーツ施設、公園等をスポーツマップに掲載できるよう関係各課や関係団と調整し、2地区のスポーツマップを作成・配布する。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
(1)スポーツ情報の発信

番号	4-1-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム		
取組項目	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携					
取組内容	スポーツが主たる目的ではない団体と連携し、それらの団体のもつ情報発信ツールを活用することで、今までスポーツ情報が行き届かなかった層に対してスポーツ情報を効果的に届けます。					
指標	—		現状値 (2018年度)	未実施		
			目標値 (2023年度)	実施		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	検討実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	検討実施					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者支援センター ・高齢者支援センターの会議に出席し、各地域で行うスポーツ教室のチラシの設置やお便りへのスポーツ教室情報の掲載依頼を行った。 ・地域で行うスポーツ教室について、地域の支援センターにチラシの設置を行った。 ○まちだ子育てサイト ・スポーツに関する情報が掲載されていないため、子育てサイトへの掲載に向けて、子ども総務課と調整を行った。 ○生涯学習NAVI ・法政大学のスポーツ教室、東京家政学院大学のテニスコート貸出について掲載した。 					
総括	スポーツ教室実施時のアンケート等により、スポーツ以外の既存情報発信ツールによる情報発信の効果を測定する方法を検討していく必要がある。 2020年度は、2019年度に調整を行った「まちだ子育てサイト」にスポーツに関する情報を掲載するなど、他の媒体等とのさらなる連携を行う。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	ホームタウンチームと連携したPR活動					
取組内容	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。					
指標	—		現状値 (2018年度)	実施		
			目標値 (2023年度)	拡大		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	実施	実施	実施	実施	拡大	
実施状況	実施					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年4月、市庁舎コンビニ内にホームタウンチーム3チームのPRパネルを設置。 ・2019年5月、ベスカドーラ町田のホーム開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕をチームカラー一色に装飾。また、1Fで職員がチーム応援Tシャツを着用するPRも実施。 ・2020年1月、キャノンイーグルスの町田GIONスタジアムでの試合に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕をチームカラー一色に装飾。 ・2020年2月、J2開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕等をセルビアカラー一色に装飾。その他、市庁舎内ワンストップロビーに応援横断幕を掲出。 ・2020年3月、鶴川駅前、野津田公園内にホームタウンチームのロゴやキャラクターを入れたデザインの路面誘導表示を設置。 					
総括	<p>新たな取り組みとして、ホームタウンチーム3チームが一体となった装飾を行った。 2020年度以降も引き続き、ホームタウンチームと連携したPR活動について検討・実施する。</p>					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-2		実施主体	オリパラ等国際大会推進課 スポーツ振興課 観光まちづくり課 ほか		
取組項目	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催によるシティプロモーション					
取組内容	ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた気運醸成を行います。					
指標	RWC2019及びオリンピック・パラリンピック関連の年間プレスリリース回数		現状値 (2018年度)	年 24回		
			目標値 (2023年度)	年 24回		
年度	2019	2020	2021	2022	2023	
実施計画	年 24回	年 24回	—	—	—	
実施状況	年 24回					
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた市民への周知を行うため、プレスリリースを行った。 <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019関連：9回 (気運醸成：5回、パブリックビューイング：2回、ナミビア交流：2回) ・オリンピック・パラリンピック関連：15回 (気運醸成：4回、聖火リレー：2回、自転車競技ロードレース：2回、事前キャンプ：2回、ホストタウン：3回、パブリックビューイング：1回、大規模大会周知：1回) 					
総括	<p>ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する情報を積極的にプレスリリースすることにより、大会開催に向けた市民への気運醸成を行うことができた。また、市の取り組みを積極的に発信することにより、シティプロモーションにもつなげることができた。</p>					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (2)スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-3		実施主体	スポーツ振興課 観光まちづくり課	
取組項目	関係団体と連携したイベント開催体制の強化				
取組内容	スポーツ団体、ボランティア組織、観光関係団体等が連携し、スポーツイベント開催時に必要な調整や手続きに係る事務をパッケージ化して、イベント開催を円滑に進めます。				
指標	市内スポーツイベント等開催時の連携実施		現状値 (2018年度)	未連携	
			目標値 (2023年度)	連携による大会開催	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	プレキャンプでの 連携の試行	事前キャンプでの 連携の試行	・試行結果の検証 ・連携の実施検討	大会主催者等 との調整	連携による 大会開催
実施状況	プレキャンプでの 連携の試行				
2019年度 具体的な 取り組み	<p>町田市観光コンベンション協会と連携して、インドネシア空手代表チームのプレキャンプにおいて、宿泊・輸送・食事等の手配調整を行った。</p> <p><インドネシア空手代表チームプレキャンプ概要> 実施期間:8/26-9/4(10日間) 実施人数:選手団9人(選手6人、コーチ等3人) 練習施設:サン町田旭体育館2階多目的室 宿泊施設:ベストウェスタンレンブラントホテル東京町田 市民との交流事業:小中学校4校及び空手道場生徒との交流事業実施(計5回)、公開練習(1006名との交流を実施)</p>				
総括	<p>インドネシア空手代表チームのプレキャンプの受入れにあたり、必要な調整や手続きを町田市観光コンベンション協会と連携して進めることにより、円滑にプレキャンプの受入れを進めることができた。</p> <p>また、町田市観光コンベンション協会からプレキャンプに関する情報発信を行うことにより、市民への周知だけではなく、「スポーツを通じたシティプロモーション」としての町田市の情報発信につなげることができた。</p> <p>2020年度は、事前キャンプでの連携に向け、観光コンベンション協会と調整を行う。</p>				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	スポーツにチャレンジの開催		
2019年度 具体的な 取り組み	市内小学生及びその保護者に対して、運動することの楽しさを知ってもらうための事業を行った。 平均台や障害物を乗り越えるなどの種目を連続で行うオリジナル競技「室内パルクール」、ポッチャ、ドッジビー、トランポリンなどを実施。 7月、10月～1月に実施し、年間で5回実施した。参加者数は307人であった。 また、初回参加の方に対して満足度や運動経験などを問うアンケートを行った。		
総括	各回定員の70名いっぱいまで申込があり、参加者の満足度が高いことがうかがえる。 今後はいかに市内各地で展開していくか検討する必要がある。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 子どもマラソン実行委員会
取組項目	町田市子どもマラソン大会の開催		
2019年度 具体的な 取り組み	スタッフの負担軽減、時間短縮、正確な測定等のため、本大会からICチップを導入してタイム計測を行うべく準備を進めてきた他、陸上競技場の観客席増設工事に伴い、コースの変更を予定していたが、当日の天候が思わしくなく、実施は危険と判断して中止となった。		
総括	結果として悪天候により中止となったが、中止の判断基準、タイミング、伝達方法など、今後の大会運営にとっても非常に貴重な経験となった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	<p>【スポーツ推進委員】 学校からの依頼に応じて市内7校で11回ポッチャ教室を実施。1,128人が参加した。ポッチャ競技についての簡単な講義から、ルール、実践を行った。</p> <p>【地域スポーツクラブ】 法政クラブがスポーツ塾を実施し、延べ5,354人が参加した。 1アップ！キッズスクール(子どもセンターまあち)を実施し、41人が参加した。 たのしく元気に！おやおあそび(子どもセンターまあち)を実施し、22人が参加した。 キッズ・ファン・タイム(子どもセンターばお)を実施し、36人が参加した。</p>		
総括	スポーツ嫌いな児童でも楽しめるよう、創意工夫を持って行った。参加した児童からお礼状が届くなど、満足度は高かった。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(1)子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	<p>【相原中央公園】 23名 ・相原スポーツ委員会と指定管理者との協働事業「ティーバッティング、ミニサッカー、ドッチビー等のスポーツ教室」 ・指定管理者が実施したテニス教室</p> <p>【野津田公園】 2960名 ・「キッズ陸上教室」 2880名 小学生を対象に「走る」ことに限らず、「跳ぶ」ことも体験しながら陸上競技全般の練習を通して体力・技術の向上を目的に指導を行った。 ・「キッズ陸上教室 フォローアップ指導」 80名 キッズ陸上教室を卒業した中学生の要望を受け開始した教室。陸上競技全般の基礎から専門競技の指導を行った。</p> <p>【町田中央公園】 901名 ・定期参加教室 591名 年間通じて1教室あたり、5回から10回程度の教室事業を開催。年齢に応じた体操教室やチアダンス、バントワーリング、バスケットボール、トランポリンの教室を実施した。 ・短期教室 310名 夏休みや冬休みを利用して集中的に教室事業を開催。テニスやチアダンス、HIP HOPダンス、逆上がりなどの種目特化型の体操教室を実施した。</p> <p>【鶴間公園】 2040名 テニスやダンス、体操、空手、ラグビー、フットサルなどの教室事業を実施した。</p> <p>【総合体育館】 9442名 ・公開指導 227名 事前の予約が不要で当日参加が可能な教室事業。小中学生対象の柔道教室を実施した。 ・教室事業 9215名 親子、小学生を対象とした体操教室のほか、バスケットボールやフットサル、チアリーディング等の教室を実施した。</p> <p>【室内プール】 4699名 年齢に応じた水泳教室の実施のほか、ダンス及びヨガ教室の実施。また、水の安全教室として「ういてまて(着衣泳)」教室を実施した。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 1056名 キッズサッカー教室や親子スポーツ教室、かけっこ教室を実施した。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に体力テストを実施した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 40名 「三輪みどり山球場スポーツデー」と称し、遊びを通してスポーツに触れ合う機会を提供することを目的に「走り方教室」や「はらっぱ教室」(鬼ごっこやヘキサスロン※)を実施した。 ※ヘキサスロン=スポーツを経験したことがなく運動が苦手な子どもでも楽しく遊び感覚で運動感覚を身につけられるように開発された運動遊びプログラム</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 5583名 年齢や技術レベルに応じたテニススクールを実施した。</p>		
総括	指定管理者それぞれの特性を活かして多くの事業を実施できている。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】 870名 ・「リフレッシュヨガ」 子育て中で運動離れの傾向にある主婦、運動をはじめてみたいが苦手意識がある、子育て中のお母さんを対象に、子ども同伴でも参加できる教室事業を4ヶ月毎3期間実施した。</p> <p>【町田中央公園】 378名 ・定期参加教室 121名 年間通じて1教室あたり、5回から10回程度の教室事業を開催。レベルに応じたヨガ教室や太極拳、ストレッチボールを使用したボディケア教室を合計70回実施した。 ・自由参加教室 93名 予約なしで参加できる教室事業。骨盤調整の教室を14回実施した。 ・短期教室 164名 短期で集中的に実施する教室事業。ZUMBAや骨盤調整、ストレッチボールを使用したボディケア教室などを実施した。</p> <p>【鶴間公園】 1766名 ヨガ、ピラティス、テニス、フットサルなどの教室事業を実施した。</p> <p>【総合体育館】 5278名 ・公開指導 2559名 事前の予約が不要で当日参加が可能な教室事業。バドミントンの基本技術指導のほか、有酸素運動と筋力トレーニングを行う「シェイプボディ教室」を実施した。 ・教室事業 2719名 勤労世代や子育て世代を対象とした、初心者アーチェリー教室やバドミントン教室、ヨガ、フラダンスなどの教室事業、合計137回実施した。</p> <p>【室内プール】 1644名 勤労世代や子育て世代を対象とした、エアロビクスやヨガ教室、水泳の無料レッスン等、合計134回実施した。また、「出張プロジェクト」と称し、忠生市民センターやコミュニティセンター等、施設外に出向いて「軽体操教室」を、計24回実施した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 40名 「三輪みどり山球場スポーツデー」と称し、青空ヨガ教室やおなかシェイプ教室など、勤労世代や子育て世代を対象に自宅でも簡単に取り組めるプログラムを提供した。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 6731名 基本から実践までレベルに応じたテニススクールを実施した。</p>		
総括	指定管理者の特性を活かして多くの事業が実施できている。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
 (2)働き盛り世代・子育てのスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 保健所
取組項目	保健所と連携した健康づくり教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	6月に健康福祉会館で実施した「食育フェス」において、健康づくり教室として、自宅で簡単にできる筋力トレーニングを紹介し、26名の参加があった。		
総括	保健所主催のイベントを通じて、健康づくり教室を開催することができた。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】 町田スポーツ文化ネットワークが教育センタークラブハウスにて、卓球開放や輪投げ開放等を行い、392人が参加した。 法政クラブが、堺市民センターにて、体ほぐし体操教室を行い、25人が参加した。</p>		
総括	各地域でスポーツ教室を実施することができた。今後も、市民に身近な場所での事業実施を行うほか、魅力ある教室事業を実施することで参加者増に向けて積極的にアプローチしていく。 市民センター等だけでなく、地域の方が参加しやすい場所(高齢者支援センター等)でスポーツ教室を開催することにより、より多くの方に対し、スポーツへの参加しやすい環境を提供する必要がある。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2019年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】 1215名 ・「ウォーキング、ジョギング教室」 1116名 高齢者や主婦層の健康増進や体力向上を目的に、3ヶ月毎4期間、計36回実施した。 ・「アクティブ運動教室」 99名 健康を維持し充実した生活を送るため、健康な体づくりの方法や自身の健康状態を知る機会を提供することを目的に、年10回実施した。</p> <p>【町田中央公園】 169名 ・定期参加教室 年間通じて教室事業を開催。「脳トレ&筋トレ教室」、「脳トレ&リフレッシュダンス」等、計70回実施した。</p> <p>【小野路公園】 3296名 ・体操教室 毎週月曜日及び金曜日に1回30分・1日4回、ストレッチや体幹トレーニング、シェイプアップエクササイズ、タオル体操などの教室を、計384回実施した。</p> <p>【総合体育館】 36865名 ・まちだ体力向上プロジェクト 37名 運動不足を感じている方や運動を始めた方向けのストレッチ教室やミニボールを使用したエクササイズを実施した。 ・公開指導 36118名 事前の予約が不要で当日参加が可能な教室事業。卓球やエアロビクスのほか、ヨガや太極拳、体操の動きをベースとした、ストレッチや筋力トレーニング、バランストレーニングを、計641回実施した。 ・教室事業 710名 高齢者を対象とした、ニュースポーツ体験、卓球、太極拳の教室事業、合計41回実施した。</p> <p>【室内プール】 3104名 ・プール 620名 泳法やレベルに応じた水泳教室や水中エアロを、計82回実施した。 ・トレーニング室 2484名 脂肪燃焼エアロやエンジョイエアロといった目的別の教室、体操とストレッチをあわせた教室など、計130回実施した。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 2502名 ・平日の日中に、グラウンドゴルフやターゲットバードゴルフの教室、ニュースポーツの体験教室を、計212回実施した。</p> <p>【三輪みどり山球場】 40名 ・ノルディックウォーキング教室 自宅から出るきっかけづくりを提供することを目的に、ノルディックウォーキング教室を実施した。</p>		
総括	指定管理者の特性を活かして多くの事業が実施できている。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実
(4)障がい者のスポーツ推進

番号	その他 取組項目	実施主体	障がい福祉課
取組項目	障がい者スポーツ大会の開催		
2019年度 具体的な 取り組み	開催日:11/2(土) 場所:町田市立総合体育館 来場者数:約900名(協力者含む) 内容:パン取り競走や鈴割り、卓球、バトミントン等		
総括	町田市スポーツ推進委員、指定管理者、町田市社会福祉協議会、ガールスカウト本連盟東京都支部町田連合会、東京町田ライオンズクラブ、町田市民生児童委員及び市民ボランティアと連携し、実施することができた。		

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実
(1)スポーツを支える人材の育成

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 体育協会
取組項目	有資格指導者データベースの作成・情報提供		
2019年度 具体的な 取り組み	体育協会加盟団体内での有資格者を把握するために、体育協会に調査を依頼予定。具体的な活用方法について、今後検討していく。		
総括	今後の有資格指導者データベースの情報提供や活用方法について、体育協会と一緒に検討する必要がある。		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(室内プール・総合体育館改修、温浴施設整備)		
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・室内プールの改修工事を完了した。 ・総合体育館の改修工事を行うため、関係各課の現場確認を行った。 ・温浴施設整備について、設計を完了した。 		
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・室内プールの改修工事が完了し2019年11月29日から再オープンした。 ・総合体育館を早期に改修できるよう引き続き庁内の調整を図っていく。 ・温浴施設の整備の設計を完了し、2020年度から整備工事に着手する。2021年度の完了を予定している。 		

基本目標3 スポーツ環境の充実
(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ
取組項目	クラブハウスを活用したスポーツ環境の充実		
2019年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センタークラブハウス、南大谷小学校クラブハウスについては、地域スポーツクラブに維持・管理運営を委託し、利用が少ない時間帯等を活用して、卓球開放や輪投げ開放、体幹教室などを実施し、幅広い世代がスポーツに関わる機会の提供を行った。 ・町田第四小学校、武蔵岡中学校クラブハウスについては、シルバー人材センターに維持・管理運営を委託し、学校開放利用団体が使用する際に、受付業務等を行った。 ・七国山小学校クラブハウスについては、七国山クラブ(地域スポーツクラブ)が維持・管理運営を行っている。 		
総括	クラブハウスについて、地域スポーツクラブが維持・管理運営していくことで、拠点として活用できるように検討していく必要がある。		

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり
 (1)スポーツ情報の発信

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	デジタルサイネージによる情報提供		
2019年度 具体的な 取り組み	デジタルサイネージの設置について、現在調整中である。		
総括			